

産官学福連携による高等教育における学術手話通訳支援プラットフォーム形成事業 —聴覚障害学生の学びと生きる力を支える「SAIL」— (Sign Language Academic Interpretation Link)



—大学の学びに、手話通訳という選択肢を—

大学における手話通訳支援の実態とニーズの可視化

- ・聴覚障害学生の手話通訳ニーズの解明
- ・大学における手話通訳支援現場の実態・実践の把握
- ・先進事例の発掘・調査及び先行研究の体系化

共同申請校:宮城教育大学

①手話通訳支援のリファレンススタンダードの確立



聴覚障害学生が手話通訳を要望した際、大学等の教職員がそのニーズを適切に汲み取れるよう、手話通訳支援の特性や必要性について理解するための教材・コンテンツの開発及び普及のための情報発信を行う。

- ・適切な手話通訳支援を促す「リファレンススタンダード」の確立
- ・聴覚障害学生向け「手話通訳セルフアドボカシーガイド」の作成

申請代表校:筑波技術大学

②大学等における手話通訳支援モデルの基盤形成



実際の修学場面をフィールドとして、大学の支援体制および授業形態・場面ごとのモデル事例を創出する。必要に応じ改善のための検討や介入を行いながら、その実践を記録し実践事例集としてまとめる。

- ・大学等における手話通訳支援の「コア・ガイドライン」の作成
- ・既存資源を活用した支援モデル事例の創出
- ・モデル実践事例集の公開
- ・ケースに応じた立場別ガイドラインの作成

共同申請校:日本社会事業大学

③学術手話通訳人材の育成基盤整備



学術手話通訳の研修機会や教材活用が全国に普及するよう、先行研究や実態調査を踏まえて研修プログラム及び教材を開発し、人材養成の基盤整備を行う。

- ・「学術手話通訳トレーニング教材」の開発
- ・学術手話通訳に関わる研修プログラム開発
- ・モデル研修会の実施

共同申請校:群馬大学

手話通訳支援 ポータルサイト



- ・リファレンススタンダードに基づく啓発教材
- ・聴覚障害学生対象セルフアドボカシーガイド
- ・モデル実践事例集
- ・立場別ガイドライン
- ・学術手話通訳に関わる研修プログラム
- ・学術手話通訳トレーニング教材

学術手話通訳支援 プラットフォーム(SAIL)

当事者団体

全日本ろうあ連盟

手話言語専門機関

・全国手話研修センター
・関西学院大学手話言語研究センター

手話通訳派遣 団体・企業

・(株)プラスヴォイス
・地域通訳派遣団体
・企業



宮城教育大学

群馬大学

日本社会事業大学

筑波技術大学
(申請代表校)

PEPNet-Japan

会員校

会員校

会員機関

大学

大学

大学

大学

障害学生支援全般に関わる専門機関

日本学生支援機構

東京大学
PHED

京都大学
HEAP

